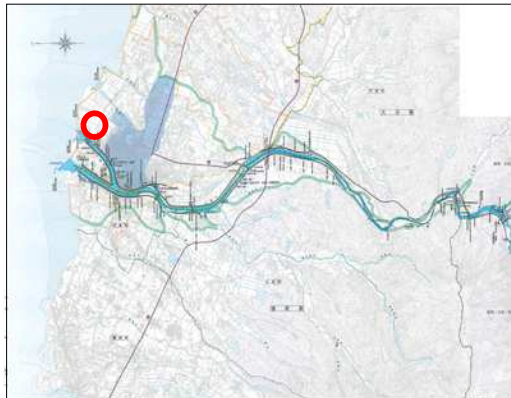


令和7年6月9日大雨

- (被害状況)・・令和7年6月10日梅雨前線に伴う大雨のため、山国川水系中津川において内水被害の発生の恐れがあった。
- (対応状況)・・大分県中津市より派遣要請を受け、排水ポンプ車1台(60m³/min)を災害時協力会社により現地派遣し排水作業を実施し、家屋浸水の軽減に貢献した。



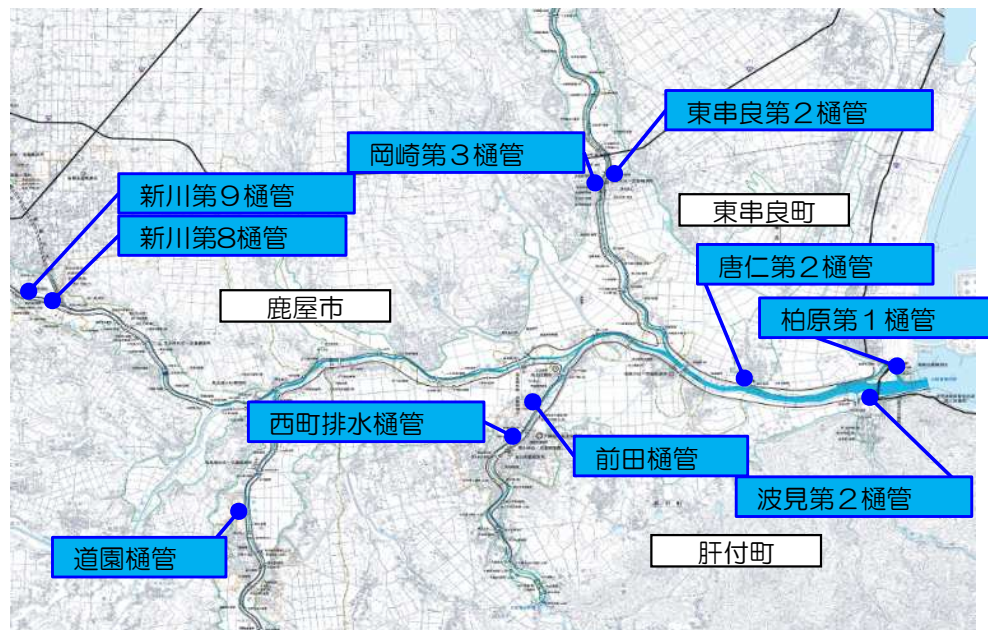
大分県中津市角木地先
山国川水系中津川 右岸-0K400付近



(株)川原建設
自見 大佑氏

- ・梅雨前線に伴う大雨のため山国川水系中津川河口付近にて内水被害の発生の恐れがありました。周囲の水田は水没状態で家屋も隣接しているため早急な内水排除が必要でした。
- ・排水ポンプを5台稼働させ、4時間連続で作業にあたりました。降雨量の減少もあり内水は順調に減っていきました。
- ・翌日の朝方も降水量が多い天気予報でしたので早朝から現地にて待機しておりましたが、降雨はなく作業終了となりました。

- 令和7年6月9日～6月10日梅雨前線豪雨や令和7年8月台風12号に伴う大雨による浸水被害軽減に備え地元自治体からの要望を受け事務所保有の排水ポンプ車7台を派遣した。
 - 大隅河川国道事務所の災害時協定業者8社により排水ポンプ車7台を肝属川流域1市2町に派遣し、豪雨・暴風下において排水対応を実施し浸水被害軽減に貢献した。
- 【協定業者：（株）吉留組・肝付土建（株）・（株）田中産業・山佐産業（株）・（有）山之口建設・（株）倉岡建設・国基建設（株）・佐藤建設（株）】



【肝付土建（株）】

夕刻から豪雨となり、現場に到着した時点で一部では内水の滞留が始まっており、作業員は暗闇の中、ヘッドライトを頼りに急いでポンプの設置を行いました。
設置箇所は堤内側から車両が進入できない場所であり、重量約40kgのポンプを、雨で濡れて滑りやすい雑草の上を通して堤防天端から堤内法尻まで運搬する必要があり、非常に危険を伴う作業であり、急激な内水位の上昇により付近の道路が一部冠水するなど、時間との戦いとなりましたが、作業員は迅速にポンプ設置を完了し排水を開始して、家屋の床下浸水を防ぐことができました。

【（株）倉岡建設】

基準水位観測所で出動判断水位を超え、さらに水位の上昇が予想されたため、出動要請を受け、肝属川の波見第2樋管での排水作業を行いました。
夜間での作業だったため、足元には、特に注意が必要でした。
そのため、各所に照明器具を多く設置し、排水ポンプの準備が整い次第、樋管管理者と連携してすぐに排水を開始することができました。

